

# ポリシーブック 2019



J A 兵庫六甲 西神戸農業経営者協議会

J A 兵庫六甲 三田地域青壮年部

J A 兵庫南青壮年部

J A たじま青壮年部

J A 丹波ささやま青年部

兵庫県農協青壮年部協議会

— 目 次 —

ポリシーブック 2019

組 織 名

J A兵庫六甲 西神戸農業経営者協議会

J A兵庫六甲 三田地域青壮年部

J A兵庫南青壮年部

J Aたじま青壮年部

J A丹波ささやま青年部

# J A 兵庫六甲 西神戸農業経営者協議会

農業用施設の老朽化（ビニルハウスやパイプラインなど）

# 農業用施設の老朽化（ビニルハウスやパイプラインなど）

---

## （１）課 題

- ・親世代で建築した施設が経年劣化により老朽化していること。
- ・既存施設の改修には新規建築よりも費用が掛かる場合があること。

## （２）解決策

### １）個人、西神戸農業経営者協議会としての取り組み

- ・施設のメンテナンスをしっかりと行う。
- ・集落水路等の維持管理に積極的に取り組む。

### ２）ＪＡ兵庫六甲と一体となった取り組み

- ・取りまとめによる施設等の低価格化を要望します。
- ・地域の実情を取りまとめて意見を集約して行政へ働きかける事を要望します。

### ３）行政に提案・要請すること

- ・施設修繕の事業を要望します。
- ・既存生産者への補助事業の補助割合引き上げを要望します。

# J A 兵庫六甲 三田地域青壮年部

農業経営について

# 農業経営について

---

## (1) 課題

### ①ねらい

- ・中長期的に営農計画を立てて個々の農業経営の向上と安定化を行う。

### ②現場の現状

- ・資材費の高騰に伴わない生産物の単価安。
- ・地域が地産地消に取り組んでいる中で多品目栽培による直売出荷者が多くいるため個々の農業形態の異なる農家が多い。

### ③展望

- ・各品目においては組織化を行い組織の規模拡大を目指すことで構成員の栽培技術の向上や生産物の有利販売の確保を目指す。

## (2) 解決策

### 1) 個人、三田地域青壮年部としての取り組み

- ・組織活動を通じて組織内での繋がりや経営の見直し改善を図り、3～5年を目安に支部活動の合併を図りそれぞれの組織改革を行う。

### 2) JA兵庫六甲と一体となった取り組み

- ・コスト低減を図るための資材や品種開発を要請いたします。
- ・生産部会等の組織に対しては積極性や主体性を見極め、JAとして力を入れる組織に対しては計画をもって組織の育成を要望します。

### 3) 行政に提案・要請すること

- ・生産農家の所得拡大のために多品目の補助金の強化を要望します。
- ・施設に対する補助について大規模な施設助成は多いが小規模な施設に対しての補助金の強化を要望します。

# J A 兵庫南青壮年部

地元農産物の販売力強化とコストバランスについて

# 地元農産物の販売力強化とコストバランスについて

---

## (1) 課題

- ・ J A兵庫南管内に全国レベルの特産品がない。また生産力も不足している。(トマト・メロン・スイートコーン・軟弱・ブロッコリー)
- ・ 都市近郊型農業で直売所やスーパー等で売れているため規模拡大しない。
- ・ 生産品目が多く生産者に一貫性がない。
- ・ 資材費・人件費等のコストが高騰しているが野菜の価格が安く販売価格にオンできていない。

## (2) 解決策

### 1) 個人、J A兵庫南青壮年部としての取り組み

- ・ 食農教育活動を積極的に行い農業や食に対しての理解を深めてもらうとともに、地元農産物のPRを行う。
- ・ 消費者体験型のイベントを行い生産者と消費者の交流を図る。
- ・ 既存の各種イベントへ積極的に参加し地元農産物のPRを行う。

### 2) J A兵庫南と一体となった取り組み

- ・ 具体的な販売の方向性が示されていないので検討する事を要望します。
- ・ J A間物流の仕組みをつくり直売所での取扱い品目を増やすよう要望します。
- ・ 人件費に最低賃金があるように直売所の野菜販売価格の最低価格を再設定するよう要望します。

### 3) 行政に提案・要請すること

- ・ 大都市へのアンテナショップの開設を要望します。
- ・ 兵庫県が主体となった県下農産物の直売所間交流を要望します。
- ・ J Aグループと協力して地元農産物をうまくPRしてもらうよう要望します。
- ・ 他府県との資材価格差の調査を要望します。



# J A たじま青壮年部

農業生産が継続できる環境整備について

# 農業生産が継続できる環境整備について

---

## (1) 課題

- ・前回の圃場整備から各地域で40年余が経過し水路やあぜ、ポンプの老朽化が進んでいる。
- ・農地への関心が薄くなり不在地主や相続されていない農地が増加している。
- ・これらの課題によって農地中間管理事業を使っても面積の拡大ができないことがある。

## (2) 解決策

### 1) 個人、JAたじま青壮年部としての取り組み

- ・現在ある補助事業（圃場整備事業、多面的機能、中山間直接支払いなど）について勉強し理解を深める。

### 2) JAたじまと一体となった取り組み

- ・県や市と一体となって農地中間管理事業の推進や人農地プランの作成の推進を要望します。

### 3) 行政に提案・要請すること

- ・不在地主の問題や相続されていない農地問題について法整備などの対策を行うよう要望します。（国）
- ・補助事業の活用（圃場整備事業、多面的機能、中山間直接支払いなど）について農家が利用しやすいような事務書類の軽減を行うよう要望します。（市・県）

# J A 丹波ささやま青年部

農業用水の不足について

# 農業用水の不足について

---

## (1) 課題

- ・加古川水系篠山川の水が自由に使えない。
- ・水田の水もちが悪い。
- ・地区ごとの水利のルールが違う。

## (2) 解決策

### 1) 個人、JA丹波ささやま青年部としての取り組み

- ・もぐらを退治する。
- ・畦塗りをする。
- ・水利組合に入る。
- ・各地区の水利の情報を共有化する。

### 2) JA丹波ささやまと一体となった取り組み

- ・各地区の水利についてのルールを集めてリスト化しみんながわかるようなものの作成を要望します。
- ・畦塗機の格安リースを要望します。
- ・JAの各支店単位で調査や情報収集を行い周知することを要望します。

### 3) 行政に提案・要請すること

- ・再度圃場整備の実施を要望します。
- ・パイプラインの設置を要望します。
- ・加古川水系篠山川の水を使えるよう要望します。